

令和 5 年度第 1 回社会教育委員の会

井深委員長 改めましておはようございます。2020年の1月に日本で新型コロナウイルス感染症が発生して以来、3年と半年がたちました。その間、計画した行事は、中止や廃止に追い込まれ、地域のコミュニティは大きく崩れてしまいました。私の地域ではほとんどの行事が中止となりました。その中で、生涯学習課の行事では、場所や時期そしてオンラインなど方法を変えながら継続し、成功を収めた行事もありました。ところで国はようやく、コロナとの共存を考え、感染法上の位置づけを2類から5類に引き下げました。いよいよコロナ以前の日常生活にもどりつつあります。さいわい瑞穂市は市制20周年を迎え、それに伴ってたくさんの記念行事が計画されています。いろいろな行事を通して、瑞穂の人たちが人生を豊かにして、コロナ禍で失われた地域のコミュニティを再構築していかなければと思っています。瑞穂の人たちが生涯にわたって自ら学び、自らの能力を発揮し、生きがいのもてる暮らしができるよう社会教育委員として活動を衰退させることなく取り組んでいきたいと思っておりますのでどうか皆様よろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。では議事のほうに移ります。進行を井深委員長さんよろしく願います。

井深委員長 それでは、議事第1 令和4年度社会教育関係名簿についての報告を事務局願います。

事務局 願います。では資料の4ページ5ページをお開きください。今年度の文化財保護審議会、青少年育成推進指導員、推進員、子どもの読書活動推進会議、スポーツ推進委員の各委員は表のとおりとなっております。よろしく願います。

続いて5ページです。今年度の社会教育推進委員の一覧です。6ページには巢南中校区の社会教育推進委員が載せてあります。合計118名の社会教育推進員さんを委嘱させていただきました。

以上で本年度の社会教育関係者の報告を終わります。

井深委員長 名簿について今説明ありましたが、よろしいですか。

それでは続いて議事2 令和5年度社会教育の方針と重点について。議事3 主な生涯学習事業についての報告を事務局より願います。

事務局 願います。では7ページをご覧ください。先ほど委員長さんもおっしゃられたように、人は生涯にわたる学習によって自己を高め、その学びを社会に生かすことでより豊かな人生を送ることができるといわれております。すべての人が豊かな人生を送るためにあらゆる機会に、あらゆる場所で学習をすることができ、その成果を発揮できる地域社会を実現することが今求められていると考えます。

そこで、瑞穂市社会教育の方針と重点でございますが、社会教育の方針は人づくり、まちづくりという大きな2本柱で進めていきたいと考えています。人づくりにつきましては、生涯にわたって学び続ける人づくりを目指し、学習、文化、スポーツの分野でそれぞれ事業を行っています。

まちづくりにつきましては、住民による主体的なまちづくりを目指し、家庭、学校、地域、各種団体が一丸となって青少年健全育成を目指すまちづくりとして進めています。

特に瑞穂市として重点とする活動は、いつでもどこでも誰にでも挨拶ができる子の育成、また、本に親しみ、本を楽しみ、本に学べる子の育成。この2点を重点の活動として進めていきます。以上が方針と重点についてです。

8、9ページをご覧ください。令和5年度の瑞穂市の主な生涯学習事業についてまとめさせていただきました。最初に、「生涯にわたって学び続ける人づくり」についてです。

1 今年度の主催事業は親子感動体験事業として、昨年度も大変好評でした、くぼたまさと工作教室。文化講演会については、読書のまちみずほに関わる方の講演を現在計画しています。また、ネオクラシックコンサートとして、管弦楽アンサンブル金沢を招待し開催予定です。そして瑞穂演劇祭を予定しております。

2 市民自主講座についてです。資料の12ページ13ページをご覧ください。23講座を開設し232名の方に受講していただいております。自主講座については、講師の方に取り組んでいただきながら、3年かけて自主運営化していただき、サークル化していただくようお願いをしているところです。

3 瑞穂大学についてです。健幸学部は60歳以上の男女を対象として、総合センターで開講しております。今年度は530名が学生として参加しています。今年度も様々な分野の講師のかたをお招きし、貴重な体験やお話を聞く機会を設定しています。今回委員長の井深委員長にも講師としてご講話いただきます。

脳力活性学部では、同じく60歳以上の男女を対象として、今年度は巢南公民館を会場に指導者の先生を中心に、算数、国語の授業が進められています。外部の方にも講師になっていただく図工や音楽などの授業も計画しています。

昨年度はこの瑞穂大学についてこの会で協議、検討していただき本当にありがとうございました。本年度は実施をする中で成果と課題を精査していく予定です。なお、4月13日に行った合同開校式も大変盛況でよいスタートが切れました。

4 フュージング教室は美来の森で実施しています。学校や子ども会などからの体験申込みも多く、その都度対応しております。

6 子どもの読書推進活動です。子どもの読書活動推進会議を行い、子どもたちが本により親しむことができるよう議論をいただいております。一昨年度策定した「第3次子どもの読書活動推進計画」に基づいた取り組みの進捗状況を把握し、よりよい取り組みを目指していきます。なお、今年度10月7日に第2回読書のまちビブリアバトルを開催します。詳しい資料は22、23ページに掲載しています。市内の小学生が夏休みを利用して読書に親しみ、おすすめ本の紹介カードを作成します。紹介カードをもとにおすすめ本の交流を行い、その後代表者によるビブリアバトルを開催します。またご案内をさせていただきます。

7 家庭教育学級についてです。今年度は現在のところ14学級が開設予定です。今年度は在宅型の取り組みに加え、行事参加型、講演会型、サロン型の学級を計画しています。保護者同士のコミュニケーションを図り、つながりを持つことができるとよいと考えています。

8 人権教育の推進についてです。市内各学校における人権教育研修会の補助を行っております。また、12月7日に市民公開人権講演会を瑞穂大学とタイアップして計画しております。

続きまして、「地域で役立とうとする人づくり」についてです。

文化財の保存についてです。瑞穂市史を3月31日に発刊いたしました。現在関係機関に配布をするるとともに、広報みずほにて市民に広く周知をしていきます。ご希望があれば購入も可能となっております。また生涯学習課では文化協会の支援をしております。文化協会の事業につきましては、資料17ページをご覧ください。

続きまして、「住民による主体的なまちづくり」についてです。

自治会活動、校区活動を基盤とする地域コミュニティ活動の推進ということで、5校区における校区活動が自主的な活動運営となるよう支援を行ってきました。今年度より市民協働安全課が主管課となりました。感染症も5類となり各校区では、積極的に行事を行う予定であると聞いております。また、4月20日に社会教育推進委員会を開催しました。ここでは社会教育推進員の役割について研修を行い、主体的に地域づくりや青少年育成に携わっていただくよう依頼をしたところです。

最後の家庭、「学校、地域が一体となって青少年健全育成を目指すまちづくり」についてです。

1 みずほ総合クラブです。土曜日の教育活動として小中学生と保護者を対象にしたスポーツ文化講座です。今年度では13講座を開設し、現在252名の子どもたちが地域の先生から学んでおります。

2 青少年育成市民会議です。これまでの成果を活かしつつ、所属団体における主体的な活動を後押ししていきたいと考えています。青少年育成市民会議では、3つの部会で重点活動を提案し、あいさつ運動の日、地域安全の日、市民ラジオ体操の日の取り組みを中心ににより多くの市民の方に参加をいただくよう現在進めています。

最後に、二十歳を祝う会についてです。式典の部と、祝う会の部を分けて、実行委員会による手作りの会にすることで、さらに大人としての自覚を深める。思い出に残るよい会にしたいと考えています。この会についてもご案内をさせていただきますので、ご臨席をよろしくお願いいたします。以上で説明を終わります。

井深委員長 ただ今事務局のほうから方針と重点、さらには令和5年度の主な生涯学習事業をお話しいただきましたが、ご質問がある方ありませんか。はい。宇野委員さん。

宇野委員 9ページの住民による主体的なまちづくりについて、もう少し具体的に生涯学習課と市民協働安全課の業務内容について教えていただけたらと思います。

井深委員長 事務局のほうよろしくお願いいたします。市民協働安全課と生涯学習の区分けについて、教えてください。

事務局長 市では、校区別の自治会連合会という構想を持っておりまして、それは組織的に簡単に言いますと、要は校区の自治会連合会という最上位の組織がありまして、その下に生涯学習の振興組織、それから福祉の関係、防災の関係の組織が作られております。今回その一番のトップである自治会連合会の担当が市民協働安全課となります。組織的な体制が変わったということで今の段階ではご理解いただければと思います。市役所の方も横断的に連携を取りながら、地域の発展につながっていくように進めていきたいと思っています。

井深委員長 宇野委員さん理解できましたか。

宇野委員 自治会連合会に関する業務が生涯学習課から市民協働安全課に移行されたということですが、私たち地域で動くものとして、今まで生涯学習課でお願いしてきたものをどこでお願いして、どこまで一緒に関わっていただけるのかを示唆いただけるとありがたいです。

井深委員長 宇野委員さん。例えば具体的にどんなことがあるのか教えてください

宇野委員 例えば、私も地域で活動する組織の 1 つとして行事を行っています。これからは市民協働安全課へという方向の中で、教育委員会とはどんな関わり方をするとよいでしょうか。

事務局長 各地域の校区活動委員会の窓口は市民協働安全課となります。問い合わせの内容によって生涯学習課等につないでもらいます。もし何かあったら市民協働安全課の方にまずお聞きいただければと思います。

松野委員 先日、穂積小校区のわくわく活動委員会の総会があり、生涯学習課でもお世話になった市民協働安全課の広瀬さんが中心となって関わってくれました。

わくわく委員会では、教育関係、防災関係、福祉関係と3つに分かれて委員会活動をしています。やはり、専門部署のアドバイスが必要かなと思いますので、窓口である市民協働安全課には、横の連絡を密に取って漏れの無いようにしていただきたいと思います。

井深委員長 自治会の方は市民協働安全課に相談にあって、教育関係や生涯教育事業は生涯学習課に来るというイメージになりやすいですね。

事務局長 まず、市民協働安全課のほうにお聞きいただければよろしいのではないかと考えています。まちづくりについて、生涯学習課が先行して進めてきましたが、今後は自治会連合会が中心という形で進めていくこととなります。生涯学習課はまちづくりを推進する自治会連合会を支える組織の 1 つとして役割を果たしていきます。戸惑いはあると思いますが、順次うまくいくように進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

井深委員長 住民の方にとって滞りなくやれるようには配慮していただきたいと思ひます。他にはありませんか。はい、山本委員さん。

山本委員 先ほど、ビブリオバトルの件が出てきました。校長会の方でも審査基準、審査員について話題となり、基準昨年度の反省を生かして、フィードバックしてほしいという依頼が出ました。審査については、やはり本のよさを紹介するものであると考えます。また、審査員については、学校関係者ではなく公平に見ていただける方に審査をお願いしたいと思ひています。

9 ページの(8)の人権教育の推進についてです。学校現場では、様々な機関から研修を受けたり、県教委主催の人権教育の研修をしたりして、職員に啓発しているところでは、瑞穂市では、人権擁護委員による啓発、生涯学習課が補助している人権研修、PTA の家庭教育学級があります。例えば、これらをまとめて行うことでスリム化が図れると考えて

おります。学校では、LGBTQ についてとか、今後の制服についてどう考えるだとか、発達障害の受け入れ方など、今日的な課題について専門的に学ぶ機会を求めています。人権教育の効果的な推進を希望します。

井深委員長 上野先生、昨年度のネオクラシックコンサートは大変好評だったわけですが、今年はアンサンブル金沢を招くこととなります。説明をお願いします。

上野委員 ネオクラシックコンサートは瑞穂市民により感動のある演奏を届けるということで、市民の人に愛好してもらおうというのが目的だったと思います。やはり大人になってから急に愛好するのではなく、小さいときから種をまいて、育んでいくという考え方が大事です。そこで、昨年度は演奏家の方々に各学校を訪問していただいて、子どもに感動を届けてもらいました。今年度もアンサンブルの方々が各学校に訪問していただいて、また違った感動を与えてくださるとよいと感じています。こうした取り組みを継続していくことで、成人したとき愛好する人が育まれていきます。今年度、アンサンブル金沢を呼んでいただくということでとても楽しみだと思えます。どのような契約をなされているのか教えてください。

事務局 山本でございます。アンサンブル金沢については、新型コロナウイルス感染症の影響でなかなかコンサートができなかった状況の中で文化庁からの紹介にエントリーをしました。アウトリーチ活動については、今回のアンサンブル金沢ではございません。以前バイオリンのコンサートとか来ていただいたかたに学校に回っていただいたこともありますので、今後はそういうアウトリーチの事業も考えていきたいと思っています。

井深委員長 学校へ出前事業はできないということですか。

事務局 今回はないです。

上野委員 でも違う形で考えてみえる。

事務局 今回のアンサンブル金沢ではできないですけど、やはりアウトリーチとして、現場に出向いていくことは、より多くの市民に啓発していくことにつながりますので、考えていきたいと思っています。

上野委員 ぜひ続けていただきたいと思います。それからもう 1 点、当日、アンサンブル金沢の人たちが演奏される際に、その会場に来ている皆さんによくわかるように演奏や曲のことについて説明があると、とてもよくわかって、市民が音楽を聴くことがとても楽しく聞けると思えます。アンサンブル金沢の人も、親切にやっていただけるような方だとよいと思います。

井深委員長 長屋委員をお願いします。

長屋委員 図書についてですが、以前宇野委員さんが言われたデジタル図書、デジタル書籍につい

てです。デジタル図書に関して図書館としてどう考えていらっしゃるかちょっとお聞きしたいと思います。なぜかといいますと、すでに子どもは1人1台タブレット端末を持っています。デジタル書籍があれば同じ本を同時に配信して、同時に読んでもらうことができます。子どもたちの感性なんかも増えるのではないかということを思います。デジタル書籍に関して教えてください。

生涯学習課長 様々な場面で「デジタル図書を導入してはどうか」ということについてご提案をいただいております。それに伴いまして図書館の方とも協議をする中で、必要性を感じておりますので、今検討をしている段階でございます。例えば来年度から導入できますということはちょっと断言はできませんけれども、今検討をさせていただいている状況です。

長屋委員 皇女和宮さんのいろいろな行事についてです。5月25日の岐阜新聞に「皇女和宮さんの小簾紅園に関する歴史の講話」について記事がありました。休憩所でされたそうですが、1つ残念だなと思うのは、実は皇女和宮さんに関する書籍、資料は休憩所にはありません。ですから、今後皇女和宮さんは歴史的に大変努力された方ですので、もっと小簾紅園と関わらせた形で和宮さんの功績をたたえて、本の発行をしていただきたいと思いますと思いました。

井深委員長 皇女和宮さんのお祭りというのは確か10月29日だったと思います。

長屋委員 そうですね。26日にお祭りです。

井深委員長 記念行事もここ3年全部中止になりました。今長屋さんが言われたことも踏まえて、開催されるとよいと思います。

教育長さんがみえましたのでご挨拶をお願いします。

教育長 皆さんこんにちは。お忙しい中ありがとうございます。別の公務で遅れまして申し訳ございません。今年改めて生涯学習の大事さというか、市民の皆さんが生涯にわたって学び続ける環境づくりというのを教育委員会は実践していく必要があると実感しています。

新型コロナウイルス感染症がだいぶ収束して、いろいろなイベント、特に20周年という関係でいろいろなイベントがあります。老人クラブ連合会の陸上自衛隊の方のコンサートでは、生で聞かせていただいて迫力があり、素晴らしいと感じました。もう1つは朝日大学の吹奏楽のコンサートにおいて、県岐商のカラーガードチーム、沖縄の西原高校のマーチングバンドの演奏を聞きました。最初の出だしのトランペットとかは本当に高校生なのというぐらい迫力があって、きれいな音でした。本物に触れる機会を、市民の皆さん、子どもも含めていろいろな機会に提供していくことが教育委員会の生涯学習課の使命かなと思いました。もう1つ、今年も瑞穂大学を開講しました。530人の入学生があり、新たに加わった方も50名以上みえるということで、本当に皆さんの意欲に敬意を表したいと思います。先日、第2回目の講座では講師の国枝さんから「がんが私に教えてくれたこと」という講演をいただき、本当に感動しました。本当に人間としての強さというのを感じました。こうしたいろいろな機会でお話を聞き、いろいろな機会が皆さんの人生を豊かにする場となるということを最近感じています。瑞穂大学については、去年社会教育委員の皆さんにいろいろご意見いただいて、改善を図りました。また別の部分で社会教育委員

の皆さんのいろんな視点からご意見いただいて、少しでも改善を図っていきたくて、思っております。途中で申し訳ありません。どうぞよろしくお願い致します。

井深委員長 資料にはありませんが、全国のラジオ体操はこれはどこが主管するんですか。この前の青少年育成市民会議の時に、かなり話題となっていましたので、説明してもらえますか。

事務局 巡回ラジオ体操は8月12日に生津スポーツ広場で行います。担当課は生涯学習課で、今ラジオ体操連盟の方とかんぽ生命の方と打ち合わせを進めて協議をしているところで、青少年育成市民会議の活動として毎年行っている市民ラジオ体操の日があるのですが、今年は瑞穂市制20周年ということで、瑞穂市で開催することになりました。1000人規模のラジオ体操を計画しています。この参加者の募集については、教育委員会で検討して、広場に近い生津や本田の校区に周知をして、募集人数を把握しながら進めていこうと考えています。他の地区に関しては、その放送を聞きながら各地域でラジオ体操をしていただくとよいと考えています。

井深委員長 主管課はあくまで生涯学習課ということですね。

事務局 はい、そうです。

井深委員長 先日、話題となっていたのは、車の駐車場の問題です。おそらく1000人を集めようとしたら、車は500台程度駐車できるようにすることも考えなければなりません。

事務局 先日、会場の下見に行きました。基本は生津、本田の校区の方に来ていただくので、徒歩または自転車できていただくことをお願いしつつ、車で見える方もいらっしゃいますので、ふれあい広場の南側の駐車スペースと、糸貫川運動公園を確保しております。

井深委員長 糸貫川運動公園の駐車場から徒歩でどれぐらいかかりますか。

事務局 400メートル、500メートルだと思います。10分15分程だと思います。

井深委員長 それは学校を通じて案内を出すのか、地域を通じて案内を出すのかについて教えてください。

事務局 自治会のほうに広報を通して案内します。

井深委員長 わかりました。すごくよい企画ですが心配な面もあります。生津小の校長先生はどう思いますか。

山本委員 生津スポーツ広場は、人が集まれる場所ですけどやっぱり交通ですよ。駐車場は心配だと思っています。

井深委員長 では、しっかりと計画をしてください。はい、お願いします。

赤尾委員 生涯学習事業とたくさんあり、本当に子どもたちのためにということを感じています。青少年育成市民会議でも話が出ましたが、子ども会を脱会するという家庭が結構増えています。様々な事業の趣旨を聞いていて、瑞穂市に対する愛着や、人口減少を食い止めるという点において、子ども会を脱会してしまうことは、愛着が育たない一因かと思っています。生涯学習事業を通して、子どもたちに浸透していけば、将来瑞穂市に残っていくということも考えられます。やはり、親になって瑞穂市に住んで、自分たちも親になったときに、子どもたちに何かしてあげようというその連鎖がやはり必要だと思います。例えば、市民ラジオ体操の日という機会が、地域として取り組める場があるとよいと思います。

上野委員 子ども会の件ですけれども、親さんが子ども会のお世話の係になったときに、係をするのが嫌だという機運が充満しているようです。そして、子どもも少なくなってきた。だからもう子ども会を休会にしようという形に行く傾向があります。私も自治会長をしていた時に、子ども会に魅力がない、参加しても何もないという課題があります。体験学習など楽しく子ども会で遊べる会がありましたがそれがなくなっています。楽修館みずほで、午後に体験学習があるので、そこへ子ども会として「来ませんか」とお誘いしたことがありますが、休会されたそうです。そういうことを考えると、これからの子ども会ってどんなのかというイメージとか、あるいは役員になった人も苦勞せずにできるようなシステムとかについて、少し考えていく必要があると思っていますところでした。

長屋委員 私も自治会連合会で一応役員をやっています。今おっしゃったとおりに、自治会によっては人数が少ないので活動を休止する会が 1 件出ました。今、考えていることは、自治会連合会、子ども会を 1 つにまとめて、1 つの行事を一緒にやろうという案で提案しています。具体的に親子で楽しめるものってということで考えていまして、1 つは映画です。体育館なんかを使って大きなスクリーンでよい音響で本格的なことをやって、子どもたちも親御さんも喜ば、周りの参加していない子どもさん、親御さんも興味をもってもらえるのではないかと考えています。

松野委員 私も今年自治会の副会長で来年自治会長を担当しますが、子どもの数が今年 8 名、来年 5 人ということで、もう子ども会活動ができないと言われていています。ただ、子ども会活動等は学校の校外委員とほぼ重なっています。子ども会が休止になると集団登校等に影響があります。ですから、学校との連携性があることがわかっていない親御さんもたくさんみえるのではないかと感じます。負担があることは事実ですけれども、子どものために、我が子のためにという思いが最近薄れているのかなとも思います。子どものことなら多少時間を犠牲にしてでもやるのが、今の時代だと無理なのかなということも感じています。それぞれの地区での行事は最低限にすることを考えたり、サポート体制を考えたりしていく必要がありそうです。最近、PTA も任意団体というのが全国的に広がって、別に入らなくてもいいよというそういう風潮も生まれていますので、子ども会連合も同様で任意団体であり、自治会も任意団体なので自治会に入らないというようなことで、同じ課題が、共通の課題があるのかなという気がします。

井深委員長 本当に深刻な問題で、親が子ども会に入らなかったら、その子どもが親になったときに入らないことも考えられます。だから本当に深刻なことです。子ども会もそうだし、PTA、自治会にも入らない例もあります。そういうことも含めて市当局もこうした状況を本当に考えていただきたいと思います。結論が出るわけではないのでだめですけど。ではよろしいですか次へ行って。

では議事 4 で社会教育委員としての対象事業分担について説明をしていただきます。

事務局 お願いします。では 26 ページをご覧ください。委員の皆様のご職務についてはそこに記されているように規定されていますのでご協力をよろしくお願いします。この中の(1)社会教育に関する計画の立案ということで、今年度は委員の皆様方に瑞穂市生涯学習事業のうち、「みずほ総合クラブ」についてご検討をお願いします。みずほ総合クラブについては、27 ページ以降に資料があります。現在 13 講座開講しております。各講座を分担して講座の様子を参観していただくなど、今年度総合クラブについて検討いただければと考えております。総合クラブを発足してから大変長い年月が経っております。この間私も参観して、子どもたちが笑顔で活動している様子を見ると、休みの日に参加できる場所として本当に大事な活動だと思えました。講座もいろいろ編成してきていますが、子どもの特性を伸ばしていくとか、興味をもってもらおうということで、講座の数や内容について、ご意見いただけると今後の活動に生かしていけると考えております。また地域先生の方々にもご協力をいただくこととなりますので、瑞穂市としてこの総合クラブが持続可能なものになっていくことを願っています。ではよろしく願いいたします。

井深委員長 事務局の説明から何かご意見ございますか。

長屋委員 子どもたちと一緒に 1 回体験するという形になりますかね。

事務局 そうですね。それが一番実感できるのではないかなと思いますね。

井深委員長 具体的にいつ、どの委員が行くのかという点について教えてください。

事務局 こちらの考えとしては、資料中の可能な日時に参観していただけるとありがたいです。スポーツ講座と文化講座がございますので、それぞれ分かれて委員さんが行っていただくと幸いです。

井深委員長 他の委員はどうですか。

上野委員 いつまで。今度の第 2 回の時まででいいですね。

事務局 そうです。

宇野委員 講座の方には全部連絡はしていただけますか。

事務局 もちろんです。

上野委員 名札を付けて参加すればよいですか。

事務局 お願いします。

松野委員 瑞穂総合クラブの特にスポーツ講座は体育協会としてはいい取り組みだなと思っていますが、スポーツ講座はスポーツの入り口の部分、どうやってスポーツを親しんでいくのかという部分ではないかと思っているのですが、体育協会の中にスポーツ少年団があるのですが、本格的に競技スポーツをやっている。そこへつなげていくためのステップという部分であればありがたいと思います。この総合クラブの中には、リンクアップの活動と若干重なる部分がありまして、先ほどの子ども会と一緒にスポーツ少年団も親の負担が大きいということで入らない子どもが最近増えています。かたやリンクアップや総合クラブだと行政が主体なので、子どもを預けていれば面倒を見てもらえるという感覚になっていないかなという点については危惧することがあります。

井深委員長 いずれにせよね、何の観点で見てくるのかということや、何の観点で、その子どものいきいきした様子とか、指導者の役割を見てくるのかを具体的にしていく必要があります。何を見てきて、どういう観点で今後つなげていくかということを示していただけるとありがたいです。

宇野委員 例えば、この総合クラブに参加する児童生徒の割合など、統計的なことも次回の会までに明らかにしていくとよいです。1人の子が2講座受けている場合や参加費なども知りたいので作成していただくとよいです。

山本委員 開講して25年経ちました。当時は土曜授業がなくなり、休日子どもたちが学ぶ場としてこの総合クラブが発足しました。そこで、もう1度今の社会事情を考えられたらどうなるかと、クラブの在り方や方向性について考えていきたいと思います。

事務局 まず、どんな視点で参観するかという点については、事務局より視点をしぼって送付させていただきます。見ていただきたい講座については、こちらの方で案を作成します。山本委員が言われたように、総合クラブそのものが本当に必要なのか、どういう位置づけで行っていくべきなのかという点については、とても大切なことです。委員の皆様と一緒に考えさせていただけたらなと思っています。そのために今年度この瑞穂総合クラブを検討課題とさせていただきました。

井深委員長 では後日、手紙か何かで連絡があるということですね。

事務局 はい。よろしく申し上げます。

井深委員長 見てくる視点と、それからどこへ行くかというのを教えていただけるようですので、それに従って、都合をつけて、たくさんあるので、何とかその日ぐらいは空けられそうですので、頑張っ行って見ていってください。

それではその次議事6その他について事務局より申し上げます。

事務局 よろしくお願ひします。2点あります。1点目は社会教育関係団体の補助金についてです。資料の方はありませんけれども、令和5年度は女性の会、子ども会、少年リーダー、PTA 連合会、体育協会、レクリエーション協会、文化協会、家庭教育学級、伝統文化保護伝承事業の団体に対して補助金の交付を予定しています。生涯学習課の方では、事業の目的、それから事業内容について精査の上交付決定をしていきます。それについてはご承知おきお願ひします。

2点目は今年度の社会教育関係大会の予定です。36ページに一覧を載せさせていただきましたので、最後の裏ですね。ご都合に応じて参加をいただければと思っています。10月12日、13日の福井県の東海北陸大会ですが、2名分の参加費、旅費は予算化しておりますので、もし参加が可能であればまた教えてください。

長屋委員 12日か13日どちらかという形で考えればよいですか。

事務局 はい。ご検討お願ひします。以上です。

井深委員長 それでは、予定されておりました議案につきまして、交流、協議を行いました。そのほか何でもよいので。

長屋委員 最近ものすごく注目されていますチャット GPT、これはいよいよ本格的に動き出しました。大学生は卒論に使用したり、申請書類をチャット GPT で作ったりする動きがあります。それから、絵もできるようになりました。今後、子どもたちの方にも完全に下りてくるとお思います。もっと使えるようになるとスマホなどにもダウンロードできるようになります。今からそういった話題について危険性を含めて、考えていく必要があるとお思います。たぶん実現は早いとお思います。ただ、現在のチャット GPT のデータは、新聞によりますと2021年の9月までのデータが、過去のデータですね。これからどんどん入れているんですけど、だから場合によっては情報が古いという可能性もあります。本物の手書きの文章とチャット GPT の文章の比較とか、いろいろ難しい問題が出てきますので、その辺もこれから要注意だなとお思います。以上です。

赤尾委員 チャット GPT について、牛牧小学校で今年度情報モラル推進ボランティアを始めました。この資料は、チャット GPT について使用事例とか、子どもに対しての注意事項についてまとめたもので親に配ろうとお思います。牛牧小学校でまずはやってみて、反響が大きければ瑞穂市全体で小学校の PTA 会長さんに広めていこうとお思います。チャット GPT については、私も試しに使って使っています。例えば、静岡の授業を聞かない子どもへの対応についての事案について、チャット GPT に聞いたんです。「困っています。小学校の教師をしています。低学年のある生徒が授業中に歩きまわり授業の進行が妨げられています。注意をすると大声でかんしゃくを起こします。その生徒に対してどのような対応をすればよいでしょうか。さらにそこに一文を加えて、無理やりにも椅子に縛って授業を受けさせようとお考えています。」それに対してチャット GPT は、「最初に強調しておきたいのは、生徒を無理やり縛るなど暴力的な手段は避けるべきだということです。代わりに以下の方法を試してみてください。」という回答でした。なので、必ずしも悪いわけではないということ。本当に相談相手にもなるし、そこを子どもにもわかって

らって、ただ頼りすぎると弊害が起きてくるのかということもこれから考えていかないといけないと思います。

宇野委員 要は子どもさんだけではなくて、私たち高齢者に対しても、やはり恐れるだけじゃなくて、勉強しないといけないと思っています。私たちは牛牧の地区社会福祉協議会も来月からパソコンとスマホ教室をやります。月々の教室の中でチャット GPT を取り上げて、私たちも恐れずにまず勉強しようということでそういう試みもしていきたいと思っています。

井深委員長 まず勉強してということですね。それでは議事の内容はすべて終了しましたので、進行を事務局のほうに戻します。

事務局 ご検討ありがとうございました。それでは会の最後に閉会の言葉を松島生涯学習課長が申し上げます。

生涯学習課長 本日は様々な貴重なご意見ありがとうございました。私どもの方で改善、検討していける部分につきましては、今後検討いたしまして改善をしていきたいと考えております。本日は大変お忙しい中令和 5 年度第 1 回瑞穂市社会教育委員の会にご出席いただきましてありがとうございました。それではこの会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。